



学校だより

# 夢中がいっぱい左近山の子

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来(公/開)～

令和6年1月9日

Sakonama  
横浜市立左近山小学校  
1月号

## 「まだ」でも「もう」でも

校長 徳留 勇

あけましておめでとうございます。本年も、安心、安全で笑顔あふれる学校づくりを目指し、全力で励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

年が明け、今年度の登校日数は6年生が49日、5年生以下は52日となりました。学年末であるこの時期は、中学校や新しい学年につなげるための重要な時期です。

自分のがんばりを認め、この一年を自分なりに価値付けたり、できなかったことに挑戦しなおしたりするなど、今年度を振り返り、次年度につなげる礎を作る時期だからです。

残りの日数を「まだ50日もある」と思うか「もう50日しかない」と思うかは人それぞれです。

心理学的には、「まだ50日もある」のほうがポジティブな思考ととらえるのですが、私の経験では、まだ50日もあると思うと、余裕をもちすぎて、何も変わらないことが多いように感じます。

反対に、もう50日しかないと思ってしまうと、その焦りから、何もかも中途半端になり何もできなかったり、諦めてしまったりしてしまいがちです。

結局のところ、バタバタと年度末を迎え、「何もできていないな。」と毎年反省しているのは、きっと私だけではないはずで。

でも、そんな私だからこそ、あえて、子どもたちには伝えていきます。

『もし、「まだ50日もある」と思うならば、やれなかったことに取り組む最後のチャンスだと思って、もう一度挑戦してみよう。』と。

『もし、「もう50日しかない」と思うならば、一日も無駄にしないという意気込みをもち、やるべきことを絞って、最後まで頑張りきろう。』と。

節目の時だからこそ、「まだ」でも「もう」でも、なりたい自分を目指して前向きに進み続けることが大切です。

充実した日々は、アツという間に過ぎていきます。「まとめの50日間はなんだか長かったな。」などと思わずにすむよう、子どもたちには、未来へとつながる価値ある日々を作り続けてほしいと願っています。

今年も教職員一同、力を合わせ、子どもたちを励まし、指導にあたっていきます。学校と家庭、地域が共に手を携え、子どもたちのよりよい成長を目指していけますようご理解とご協力をお願いいたします。

**スクールカウンセラー1・2月の来校日** 1月23日(火) 2月13日(火) ・27日(火)

相談を希望される方は、養護教諭(石綿)または各担任までご連絡ください。



**【留守番電話設定】**平日 17時15分から翌朝7時45分までは留守番電話を設定しています。